

## 平成 18 年度見学旅行記（6月23日）

高知県橋梁会理事 右城 猛

高知県橋梁会ではこの時期，一泊二日と日帰りの見学旅行を毎年交互に行っている。今年は日帰りの順番。参加者は玉井佐一会長を初めとする20名。偶然にも昨年と同じ人数。愛媛県久万高原町西谷で施工中の大成(おおなる)橋を見学した。昼食はホテル奥道後のバイキング料理。午後は道後平ニュータウンの豪邸を見学，そして砥部焼陶芸館で磁器制作を体験。橋梁に関する専門的知識だけでなく一般教養をも身につけることができた。最後は恒例となっているアサヒビール園の伊予西条店。でき立ての生ビールとジギスカン料理に満喫しながら参加者同士で親睦を深めた。

### 平成 18 年度見学会参加者名簿

| 所 属              | 氏 名                          |
|------------------|------------------------------|
| (株)愛橋高知営業所       | 安見和夫， 堅田武男                   |
| (株)アンプル          | 西川準二                         |
| 北村商事(株)          | 武内 豊                         |
| 構営技術コンサルタント(株)   | 吉田幸男， 友田一志                   |
| ショーボンド建設(株)高知営業所 | 西尾 肇                         |
| (株)相 愛           | 中村和弘， 恒石宣一                   |
| (株)第一コンサルタンツ     | 右城 猛， 玉井佐一， 大西一賢， 田中宏和， 斉藤啓太 |
| (株)鉄建ブリッジ        | 森下伸裕                         |
| ピーシー橋梁(株)四国支店    | 橋田恭司， 岡本圭吾， 有光政彦             |
| 三井住友建設(株)高知営業所   | 山崎喜一郎， 浅井博之                  |

### ■大成橋

大成橋は，国道440号道路改良工事の一環として施工されている，橋長192mのPC3径間連続ラーメン箱桁橋。安見会員より送って頂いた一般図を次ページに示す。コンクリートの強度は40N/mm<sup>2</sup>。主ケーブルには低リラクセーションのPC鋼より線 SWPR7BL，床版の横締めにはプレグラウト PC 鋼材 (1Tφ28.6mm)を採用している。



プレグラウト PC 鋼材

プレグラウト PC 鋼材(アフターボンド)は，工場で鋼材に後硬化型の樹脂を塗布してシースに包んでいるので，現場でのグラウト作業は不要。通常の PC 鋼材では「メタルシースの配置→コンクリート打設→PC 鋼材の挿入→緊張・定着→グラウト」という作業が必要だが，アフターボンドの場合には「プレグラウト PC 鋼材配置→コンクリート打設→緊張・定着」でよいので，作業の省力化，PC ケーブルと構造物の信頼性向上，工期短縮などのメリットがある。

見学に先立ち，株式会社愛橋の大成橋建設現場事務所の小西吉満所長様より工事概要，施工上の問題点と対策などについて懇切丁寧な説明をいただいた。その後，P1 橋脚のてっぺんまで登り，フレンネージャッキを用いた主ケーブルの緊張作業を見学した。





P1 橋脚の上に登り、主ケーブルの緊張作業を見学



（株愛橋の社旗を掲げた P1 橋脚をバックに記念撮影

#### ■道後平ニュータウン

道後平ニュータウンは敷地面積 22 万 5 千  $m^2$ 、分譲区画数 564 の広大な造成地。松山城を中心に広がる松山市街を眼下に見下ろし、遠く伊予灘や瀬戸内海まで望める。松山市街までは 5km と近い。20 分間隔でシャトルバスが運行されている。

ここを見学コースに入れた理由は、三井住友建設が設計・施工した建築費 5 億円の豪邸を一目見るため。豪邸のオーナーは日野夫妻。二人とも歯科医師。夫婦が豪邸を利用するのは週末だけ。約 300 坪の敷地にはシアター専用の建物もある。庶民の生活とはかけ離れ過ぎていて想像もつかない。

道後平ニュータウンに建てられている家は豪邸ばかり。住宅ローンでようやく建てたような家は見あたらない。格差社会が現実的に身近で起きていることを実感させられた。



## ■ 砥部陶芸館

砥部は地名が示すとおり「砥石（といし）」の産地。大洲藩の命を受けた上麻生村(かみあそうむら)組頭の杉野丈助(じょうすけ)が、2年がかりの苦労の末、1777年12月10日に砥部で磁器作りを成功させたのが砥部焼の始まり(砥部町の公式ホームページによる)。

焼き物のことを陶磁器と呼ぶが、陶器と磁器には次ページの表に示すような違いがある。砥部焼は磁器である。

私たちは、砥部町にある「砥部焼陶芸館」二階の手びねりコーナーで陶芸を体験。インストラクターから簡単な説明を受けた後、各自60gの粘土をこねて皿やコップなどの容器を作った。出来映えは別にして、全員、気分は一流の陶芸家。2ヶ月後に焼き上がった作品が送られてくるようである。送られてきた私の作品を軽蔑したような眼差しで見る家族の顔を想像すると、粘土をこねる指が思うように動かない。



皆さん気分は一流の陶芸家。真剣な目つきで近寄りたたい。

磁器と陶器の違い(<http://www.gctv.ne.jp/~marutaka/syurui.htm>)

|        | 磁器                                       | 陶器                                       |
|--------|--|--|
| 原料     | 陶石を粉碎したものと粘土                             | 粘土                                       |
| 成形     | ろくろ成形、鑄込み、ローラマシーンなど                      | たまつくり、ひもつくり、タタラつくり、型つくりロクロ成形など           |
| 焼成温度   | 1300度前後                                  | 1100~1200度                               |
| 装飾・絵付け | 素焼きをして下絵を描き、施釉して本焼。その後、上絵を描いて焼き付ける場合もある。 | 成形が済んだところで削ったり、取っ手をつけるなどの装飾を行う。釉薬などの味わい。 |
| たたいた音  | 金属的な高い音                                  | 鈍い低い音                                    |
| 透明度    | 有  | 無  |
| 吸水性    | 少ない                                      | 多い                                       |
| 破砕面    | 貝殻上に破損                                   | 釉薬がガラス状 破片は土状                            |
| ルーツ    | 中国（日本では有田）                               | 朝鮮（日本では各地）                               |
| 柄色合い   | 白磁に染付、赤や金などの装飾                           | 土の色や釉薬のかけ具合にて模様を作る                       |
| 素地     | 焼が硬く、質が緻密で気孔が少なく、多くが白色                   | 焼が柔らかく、質が荒く気孔が多い。多くが土色                   |
| ブランド名  | 有田焼、伊万里焼、九谷焼、清水焼、瀬戸焼、美濃焼、砥部焼             | 笠間、相馬、益子、織部、志野、唐津、萩焼                     |



ビールのお代わりと共に盛り上がる参加者





最後にアサヒビール園伊予西条店の前で記念撮影

#### ■アサヒビール園

見学旅行の締めは西条市のアサヒビール園。いつの頃からか、最後は西条のアサヒビール園で喉を潤すのが恒例となっている。昨年は見学先が大分であったため時間に余裕がなく、やむを得ずインターを降りずに帰った。

いつものことながら、ここに来ると誰もが生き生きしてくる。できたての生ビールを飲みながら食べるジンギスカン料理は本当にうまい。血糖値が舞い上がる恐怖もつい忘れて、2度もジョッキーのお代わりをしてしまった。

#### ■あとかき

当日は梅雨前線の影響で大雨が予想されていた。国道33号の通行規制や落石を心配していたが、幸いにも小雨のままであり見学に支障をきたすことはなかった。

最初の乗車口と決めていた道の駅南国・風良里をバスが出発したのは7時15分。その3時間前にサッカーW杯の日本対ブラジル戦が始まった。テレビ観戦のため寝不足のまま旅行に参加した方、ブラジルに負け1次リーグで1勝も挙げることなく敗退した悔しさを嘔みしめて参加した方も多かったと思う。そのようないやな気分を吹き飛ばしてくれたのは駅前観光の美人バスガイド。上沼恵美子にも劣らぬ毒舌を交えた巧みな話術には、腹を抱えて笑わされた。

大成橋の見学では株式会社愛橋の安見会員と大成橋建設現場の皆様にお世話になりました。帰り際には全員に冷たいジュースまでいただき恐縮しました。三井住友建設株式会社の浅井会員と道後平ニュータウン販売センターの皆様には、団地の案内をお願いし面倒をおかけしました。名鉄観光、駅前観光の関係者、玉井佐一会長、見学旅行に参加された会員の皆様のお陰で、思い出に残る楽しく有意義な旅行になりました。心より感謝を申し上げます。